

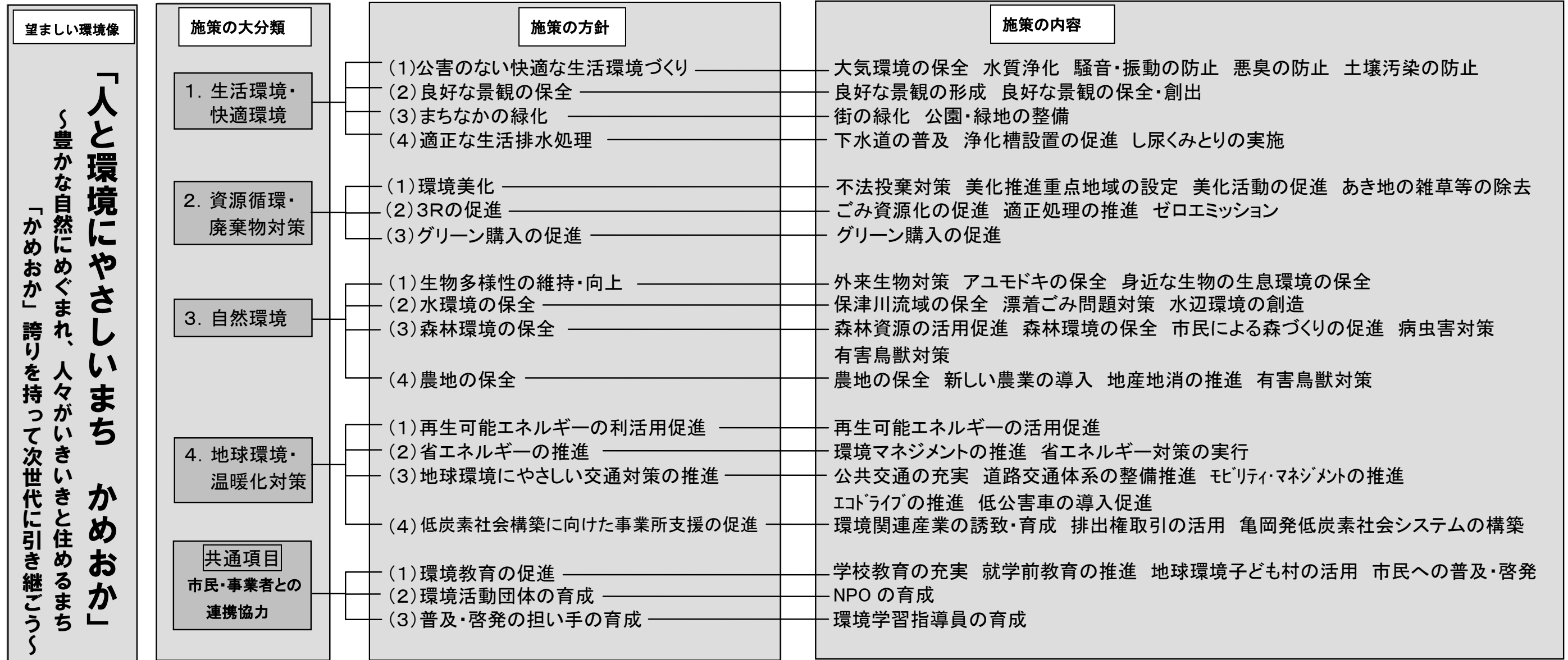
第2次亀岡市環境基本計画

取組状況報告書

平成28年度

亀岡市

施策の体系



1 生活環境・快適環境

太字…昨年度と変更箇所

No.	施策の方針	施策の内容	市の取り組み
1	公害のない 快適な生活 環境づくり	大気環境の 保全	京都府と連携して苦情等の対応を行った。
2		水質浄化	水質検査を実施した。(5、11月に35定点、7、9、1、3月に9定点)
			京都府と連携して苦情等の対応を行った。
			河川工事において水質の維持保全に配慮した設計施工を行った。
3		騒音・振動の 防止	騒音測定を実施した。(昼間39箇所、夜間13箇所)
	公共事業において、低騒音・低排気ガスの重機の使用、低騒音・低振動工法の選定を行った。		
4	悪臭の防止	関係機関と連携して悪臭公害の防止と早期対応に努めた。	
5	土壌汚染の 防止	京都府への届出の際に、関係法令順守を指導することで公害の未然防止に努めた。	
6	良好な景観 の保全	良好な景観 の形成	景観計画及び景観条例を適正に運用した。
7		良好な景観 の保全・創出	景観計画及び景観条例について普及啓発を行った。 リーフレット「わたしたちのかわ 保津川」を1000部発行し、普及啓発を行った。
8	まちなかの 緑化	街の緑化	花と緑のフェスティバルの実施(来場者数約10,000人)
			花づくりコンクールの実施(参加数:保育所(園)10箇所、小学校17箇所、中学校8箇所)
			自治会が行うわがまち花づくりの補助金(12件)交付
			みどりのカーテンモデルの実施(参加校:公立の保育所3箇所、私立の保育園7箇所、私立の幼稚園1箇所、小学校8箇所、市内介護施設12箇所)
9	公園・緑地の 整備	都市公園(35箇所)、開発公園(153箇所)	
10	下水道の普 及	計画的に管路整備の事業推進を図った。(整備面積:4ha)	
		下水道の水洗化率:87.2%	
		下水道フェスティバルを開催した。	
11	適正な生活 排水処理	浄化槽設置 の促進	補助金の活用と併せて浄化槽による水環境の保全及び維持管理の必要性について組回覧を配布した。(4回) 維持管理費に対する補助制度の創設を京都府浄化槽推進協議会を通じて京都府に要望を行った。
12	し尿くみとり の実施	民間事業者を活用して、適正かつ安定したし尿くみ取りを実施した。	
		若宮工場(し尿処理施設)で適正処理を行った。	

2 資源循環・廃棄物対策

太字…昨年度と変更箇所

No.	施策の方針	施策の内容	市の取り組み
1	環境美化	不法投棄対策	専任監視員、業務委託によるパトロールの実施。監視カメラ(2台)の設置による監視。
			不法投棄防止に向け民間事業者等と協定を締結し、監視体制を強化した。 (環境事業公社からの情報提供4件)
			証拠品の保管等で警察と連携を行い、不法投棄行為3件の検挙に繋がった。
			森林保安監視員(巡視員2名)によるパトロールの実施。
2	環境美化	美化推進重点地域の設定	年2回市民等と美化推進重点地域の清掃を実施した。
3		美化活動の促進	美化推進重点地域の早朝一斉清掃と啓発活動を実施した。(年2回)
			清掃用具の貸出、貸与を行い地域の自主的な環境保全活動を支援した。(118団体)
4		あき地の雑草等の除去	雑草パトロールによる不適正箇所への指導。(年2回)
5	3Rの促進	ごみの資源化の促進	資源ごみ集団回収報奨金の対象品目の「雑誌」を「雑がみ」に変更し、対象品目を拡大することでごみの減量とリサイクルの推進を図った。
			ごみ処理手数料の見直しの検討をごみ処理基本計画の施策とした。
			環境フェスタで環境ポスター、標語、川柳コンクールの表彰及び展示をした。街頭啓発を実施した。
			発注工事における設計図書(特記仕様書等)に明記し、再生資源の利用等に努め施工した。
6	3Rの促進	適正処理の推進	桜塚クリーンセンター整備改良工事完了に伴い、施設全稼働での運転管理を行った。
			ごみ収集の際に、不適正排出に対して啓発シールを貼り啓発した。
			発注工事における設計図書(特記仕様書等)に明記し、廃棄物の適正処理に努め施工した。
7	3Rの促進	ゼロエミッション	現行のごみ処理基本計画の実施状況を確認し、新たな施策を作成するための情報収集を行った。
8	グリーン購入の促進	グリーン購入の促進	物品調達基金で取り扱う事務用消耗品は全てエコ・グリーン製品等を購入した。
			亀岡市ホームページを活用し、優れた取組みを実施している企業等の紹介を行った。

3 自然環境

太字…昨年度と変更箇所

No.	施策の方針	施策の内容	市の取り組み
1	生物多様性の維持・向上	外来生物対策	市の防除計画に基づき、市が所有する捕獲オリを自治会や個人に貸し出して、アライグマ、ヌートリアを捕獲した。(捕獲実績:アライグマ97頭、ヌートリア35頭) アユモドキの保全のため外来魚駆除大会(年2回)を実施した。(駆除実績 オオクチバス283匹、ブルーギル561匹)
2		アユモドキの保全	亀岡市保津地域アユモドキ保全協議会(年2回)を開催。 環境フェスタ等で保護増殖活動を報告し、啓発冊子等を作成し配布した。 フアブリダム立ち上げ時や、中干し、落水に伴う水路渇水時にアユモドキの救出活動を実施した。 アユモドキ生息環境再生整備実験を実施した。 保津川遊船企業組合のロビーで亀岡産アユモドキの飼育を展示した。
3		身近な生物の生息環境の保全	環境フェスタで、身近な魚類や外来生物について学べるブースを設置した。
4		保津川流域の保全	「川と海つながり共創プロジェクト」の漂着ごみ発生抑制対策の取り組みとして、清掃活動や市内小学校への環境教育を実施した。 河川愛護月間の啓発事業(懸垂幕・広報誌への掲載等)を実施した。
5		水環境の保全	漂着ごみ問題対策
6	水辺環境の創造		保津川かわまちづくり推進協議会を開催した。 河川工事において、水質の保全、生物の生態系に配慮した設計施工を行った。
7	森林環境の保全	森林資源の活用促進	搬出による間伐材の資源活用の推進は未着手。 バイオマス利活用の研究の推進は未着手。 4者協定(立命館大学、龍谷大学、京都学園大学、亀岡市)に基づく調査研究を継続し、商品販売及び学校給食へクルベジを提供。
8		森林環境の保全	林道災害の復旧工事を実施した。 府が林地開発の指導を実施し、府と合同でパトロールを実施した。
9		市民による森づくりの促進	市内3地区でフィールドワークを実施し、市や森林組合、地元関係者も活動に協力した。
10		病虫害対策	森林病虫害防除事業による伐倒駆除・樹幹注入等作業を森林組合に委託し実施した。
11	有害鳥獣対策		有害鳥獣防護柵を設置した(設置延長4,261m)(協議会事業) 亀岡猟友会に委託し有害鳥獣を捕獲した。(捕獲頭数:737頭)

3 自然環境

太字…昨年度と変更箇所

No.	施策の方針	施策の内容	市の取り組み
12		農地の保全	国営緊急農地再編整備事業着手に向けて、事業計画の確定及び亀岡中部土地改良区の設立。
			多面的機能支払交付金の制度説明会を開催し事業の円滑な実施に努めた。
			中山間地域の集落に対し、現地や交付金の使用状況について確認を行った。
			認定農業者数は、法認定79名、地域認定26名、青年等就農計画認定30名の計135名となった。
13	農地の保全	新しい農業の導入	エコファーマーシールの作成費用等を助成した。
14		地産地消の推進	小中学校で食農学習推進事業を実施した。(15小学校、2中学校) 夏休みを利用した収穫体験・親子料理教室を実施した。
			農業体験の機会を提供する農業塾の実施(全7講座、参加者41口・129人)
			市内飲食店、直売所等での市内産農産物を使用した食事、弁当等の提供機会を拡大した。
15		有害鳥獣対策	有害鳥獣防護柵を設置した(設置延長4,261m)(協議会事業) 亀岡猟友会に委託し有害鳥獣を捕獲した。(捕獲頭数:737頭)

4 地球環境・温暖化対策

太字…昨年度と変更箇所

No.	施策の方針	施策の内容	市の取り組み
1	再生可能エネルギーの利活用促進	再生可能エネルギーの利活用促進	亀岡市家庭向け自立型再生可能エネルギー導入促進事業費補助金を29年度から開始できるように準備を進めた。
			先進地(飯田市、みやま市)の取組事例を参考に自然エネルギー利活用の研究を行った。
2		環境マネジメントの推進	環境マネジメントシステムを運用し温室効果ガス排出量の削減に努めた。 ※ 平成28年度の温室効果ガス排出量は、22,252,668kg。(平成26年度比7.1%の減少、平成27年度比2.2%の減少。)
			亀岡商工会議所が中心となって、ISOの個別相談を行い、商工会議所のホームページを通じてエコ検定受験の推進を行った。
3	省エネルギーの推進	省エネルギー対策の 実行	みどりのカーテンモデル事業を公立の保育所3箇所、私立の保育園7箇所、私立の幼稚園1箇所、小学校8箇所、介護施設12箇所で行った。
			ライトダウンinかめおかを、6月21日(夏至の日)、7月7日(七夕の日)、8月7日(保津川花火大会の日)に実施した。
			環境マネジメントの運用を通じて、各公共施設の省エネルギー対策を促進した。
4		公共交通の充実	平成28年度は乗車人数(亀岡地区コミュニティバス101,116人、篠地区コミュニティバス21,356人、ふるさとバス139,850人)の乗車実績であった。
5	地球環境にやさしい交通対策の推進	道路交通体系の整備推進	道路事業(7路線)を実施した。
			主要生活道路の環境改善を図るため、計画的な道路整備を行った。
6		モビリティ・マネジメントの推進	市内小学校(安詳小学校)において交通環境学習を実施した。 庁内掲示板によるエコ通勤促進の呼びかけを行った。
7		エコドライブの推進	庁内掲示板を通じて職員、市ホームページを通じて市民へエコドライブの啓発を行った。
8		低公害車の導入促進	京都府における電気自動車用急速充電インフラマップを市ホームページで紹介した。
9	低炭素社会構築に向けた事業所支援の促進	環境関連産業の誘致・育成	新たな工業用地の確保に向け、関係機関と連携し、用地情報の発信、土地利用転換についての協議を行った。
			ものづくり産業振興会議を開催し、事業関係者との連携・推進体制づくり及び支援を行った。
10		排出量取引の活用	京都版CO2排出量取引制度について市ホームページで紹介した。
11		亀岡発低炭素社会システムの構築	4者協定(立命館大学、龍谷大学、京都学園大学、亀岡市)に基づく調査研究の継続、昨年度の3月より引き続き3店舗での商品販売(販売数111,040個)及び、学校給食へのクルベジ提供を行った。

(共通事項) 市民・事業者との連携協力

太字…昨年度と変更箇所

No.	施策の方針	施策の内容	市の取り組み
1		学校教育の充実	地球環境こども村での環境学習の実施(来村事業:6団体、706名)
			桜塚クリーンセンター等の施設見学の実施(全小学校の4年生(781人))
			各校のこれまでの取組内容をまとめた事例集等を参考に、各学校や各ブロックの実状に応じた取組を進めた。
2	環境教育の促進	就学前教育の充実	各保育所等で、みどりのカーテンや花・野菜の栽培を通じて児童に環境教育を行った。
			各保育所等で、視聴覚教材を活用して児童に「自然や環境の大切さ」、「物を大切にす精神」を啓発した。
3		地球環境子ども村の活用	亀岡生き物大学の開催(7月～12月12回) 初級コース107名、中級コース30名、上級コース23名、キッズクラブ9名 計160名 特別講座20講座655名
			学校・地域・他団体等との連携事業の開催(18回)
4		市民への普及・啓発	環境フェスタを10月1日(土)にガレリアかめおかで開催した。
			図書館で環境関連図書を購入し、各館で紹介・展示を行った。
5	環境活動団体の育成	NPOの育成	市民活動団体の自主的な取り組みへの支援を実施した。
			保津川復活プロジェクト(京都組)のネットワークを中心に、9月10日(土)第6回「いかだにのってみよう!!」を開催(313人参加)
6	普及・啓発の担い手の育成	環境学習指導員の育成	NPO法人 亀岡人と自然のネットワークや、丹波淡水魚研究会と連携し、アユモドキ生息状況等調査や外来魚駆除活動を実施した。
			亀岡生き物大学の事業を通じて、環境学習指導員の育成・確保に努めた。